

## 区別計画策定に向けた検討シート（北区）

### 2 現状と課題

産業	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業別就業者数は、第3次産業の割合が約8割と、4区の中で最も高い。事業所の中で最も割合が高いのは卸売業・小売業となっている。</li> <li>・平成26年秋にJR岡山駅前にイオンモール岡山が出店したが、郊外部の大型店舗の増加により、商店街では空き店舗等が増加し、歩行者通行量は長期的に減少し続けている。</li> <li>・農業の後継者不足が問題となっており、中山間地域等では、耕作放棄地が増加し、多くの鳥獣被害が発生している。</li> </ul>
	<p><b>【課題】</b></p> <p>①中心市街地の賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の魅力アップや、賑わい創出に向けた文化や食の交流イベント等を行政と民間が一体となって進める必要がある。</li> </ul> <p>②農業の担い手確保、有害鳥獣対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特産の果樹をはじめ農業の新たな担い手を育成し、農村部における地域力の維持・強化を図る必要がある。</li> <li>・被害発生地域での有害鳥獣対策を近隣市町と連携しながら進め、被害の防止を図る必要がある。</li> </ul>
交通	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかには、多くの通勤・通学者が集まることから、公共交通の充実、歩行者にやさしい空間づくりへのニーズが高い。また、放置自転車も依然として多く、自転車環境の向上へのニーズが高い。</li> <li>・中山間地域の中には、路線バスが廃止された公共交通不便地域が存在しており、買い物や日常生活に不便を感じている市民も多い。一部の地域ではコミュニティバスが運行されている。</li> </ul>
	<p><b>【課題】</b></p> <p>①中心部における交通利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの人が集まる中心部では、公共交通のさらなる利便性を高めるとともに、自転車の利用環境の向上などを進め、まちなかの回遊性の向上につなげていく必要がある。</li> </ul> <p>②中山間地域等における生活交通の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域など公共交通不便地域では、買い物や通院などの日常生活に必要な交通手段を確保していく必要がある。</li> </ul>
保健福祉、子育て	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区又は小学校区で健康市民おかやま21の推進体制があり、公民館等を拠点として地域の実情に合わせた健康づくりを行っている。</li> <li>・子どもの数は4区の中で最も多い。</li> </ul>
	<p><b>【課題】</b></p> <p>①地域、職域等と連携した主体的な健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代、働き盛りの年代に向けた健康づくり活動を強化するため、職域との連携を深めていく必要がある。</li> </ul> <p>②子育て環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援など子育て環境の整備を進める必要がある。</li> </ul>

## 区別計画策定に向けた検討シート（北区）

<p><b>防災・防犯 (安全・安心)</b></p>	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、頻発している集中豪雨等により、市街地を貫流する旭川、笹ヶ瀬川、砂川、足守川流域等では浸水被害が発生している。また、丘陵部では、集中豪雨時等に土石流や、がけ崩れ災害が発生する恐れがある。中心市街地では、雨水排水の役割も担う下水道施設の老朽化が進んでいる。</li> <li>・通勤通学者が多いことから、地震等で交通機関が不通になった際の帰宅困難者への対応について、大規模集客施設等と協定を締結している。</li> <li>・自主防災会の組織数は140団体（H28年4月時点）であり、東区に次いで2番目に多いが、人口・世帯規模からは高いとは言えない。</li> <li>・区民千人当りの刑法犯認知件数は、16.43件と4区で最も多い。</li> <li>・市の面積の半分以上を占める北区には、用水路が多くある。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>①浸水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、県による河川改修等を促進するとともに、中心市街地における下水道施設の計画的な改築・更新による雨水排水機能の強化、西部の市街地等での浸水対策等を進める必要がある。</li> </ul> <p>②地域の防災・防犯力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災会組織率を高め、地域団体の活動を促進するとともに、単身者、学生、マンション居住者など地域団体に加入していない人たちへの地域の防災・防犯活動への参加促進、事業者との連携強化を進めていく必要がある。</li> </ul> <p>③用水路の安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用水路への転落事故が発生しており、転落危険箇所を把握し、必要な安全対策を進めていく必要がある。</li> </ul>
<p><b>コミュニティ</b></p>	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災・防犯活動等の中心となる町内会の加入率は、減少し続けており、平成27年6月時点で、81.2%であり、4区の中で最も低くなっている。</li> <li>・学生や単身者が多いことから居住者の移動が多く、一世帯当たりの人員数が4区の中で一番少ない。</li> <li>・岡山市の外国人市民の約6割にあたる約6千人が居住している。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>①地域コミュニティの維持、コミュニケーションの場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎化が進む中山間地域等では、固有の歴史・文化伝統の継承を含め、地域コミュニティの後継者を育成していくことが求められている。</li> <li>・特に、高齢化、過疎化が進む中山間地域では、コミュニティの希薄化や生活サービス機能の衰退への対応が必要となっている。</li> </ul> <p>②外国人市民との交流が活発な地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ESDなど世代や国籍を超えた活動の継続により、外国人市民が参加しやすく、住民と交流できる地域づくりを進めていく必要がある。</li> </ul>
<p><b>特色ある 地域づくり</b></p>	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心部の歴史・文化・芸術に関する施設等が集積したエリアでは、その魅力をいかした地域づくりが進められているが、多くの歴史・文化資源が地域住民にも十分に知られていない状況も見られる。</li> <li>・まちなかではNPOや市民団体が主体となった取組が進められており、特に西川緑道公園界隈では、岡山大学が市民、大学、行政による協働の場として西川アゴラを設置するなど、市民、NPO、事業者、大学との連携が進んでいる。</li> <li>・区づくり推進事業申請件数は、おおむね増加傾向にある。</li> </ul>

## 区別計画策定に向けた検討シート（北区）

### 【課題】

#### ①地域資源の見直しによる魅力発見と活用

- ・中山間地域では自然・農産物をいかした地域づくり、吉備路周辺や足守地区では歴史的遺産をいかした地域づくり、一宮、津高地区では桃やぶどうなどの特産品をいかした地域づくりなど、それぞれの個性をいかした地域づくりを進めていく必要がある。
- ・地域の文化財や貴重な自然、スポーツ施設をいかした地域づくりにより、特に子どもに地域への愛着を持たせていく必要がある。

#### ②学生の力をいかした地域づくり

- ・大学と地域の交流を促進し、地域づくり活動、コミュニティ活動を活性化するなど、学生の力をいかした地域づくりを進めていく必要がある。